

# 各種事業を公表

## 観光施設特別会計を公表

令和3年度の観光施設の収支は大陽の里が3千2百万円、東泉望が1千7百万円、椿の湯が1千万円の赤字となり、累積赤字の2千万円と合わせて、約7千9百万円の赤字となりました。

コロナ禍の影響を受け、飲食面に大きな損失が出ています。今後は食事メニューの刷新などに取り組み、利用拡大につなげていきます。

問い合わせ先  
 役場水産景観課  
 商工観光係  
 ☎(86)1137[直通]



温泉センター「椿の湯」



レジャーランド「太陽の里」

## ジャガイモ種苗研究が終了

町では、平成28年度に長岡技術科学大学（新潟県長岡市）と鹿児島工業高等専門学校（霧島市）の二者で包括連携協定を締結し、革新的種イモ生産技術を確立するための実証実験を行ってきました。

増産する会社の設立を目標に研究を重ねてきました。研究開始からの実績として、長岡技術科学大学からの技術提供により、種イモ生産は本町でも技術的には可能であるとの成果が得られました。

これまで北海道産のジャガイモの種イモが病原体に侵され供給されなくなった場合を想定し、低コストで簡単に扱えるジャガイモウイルスフリークローン種苗の生産方法の確立と種イモを得られた成果

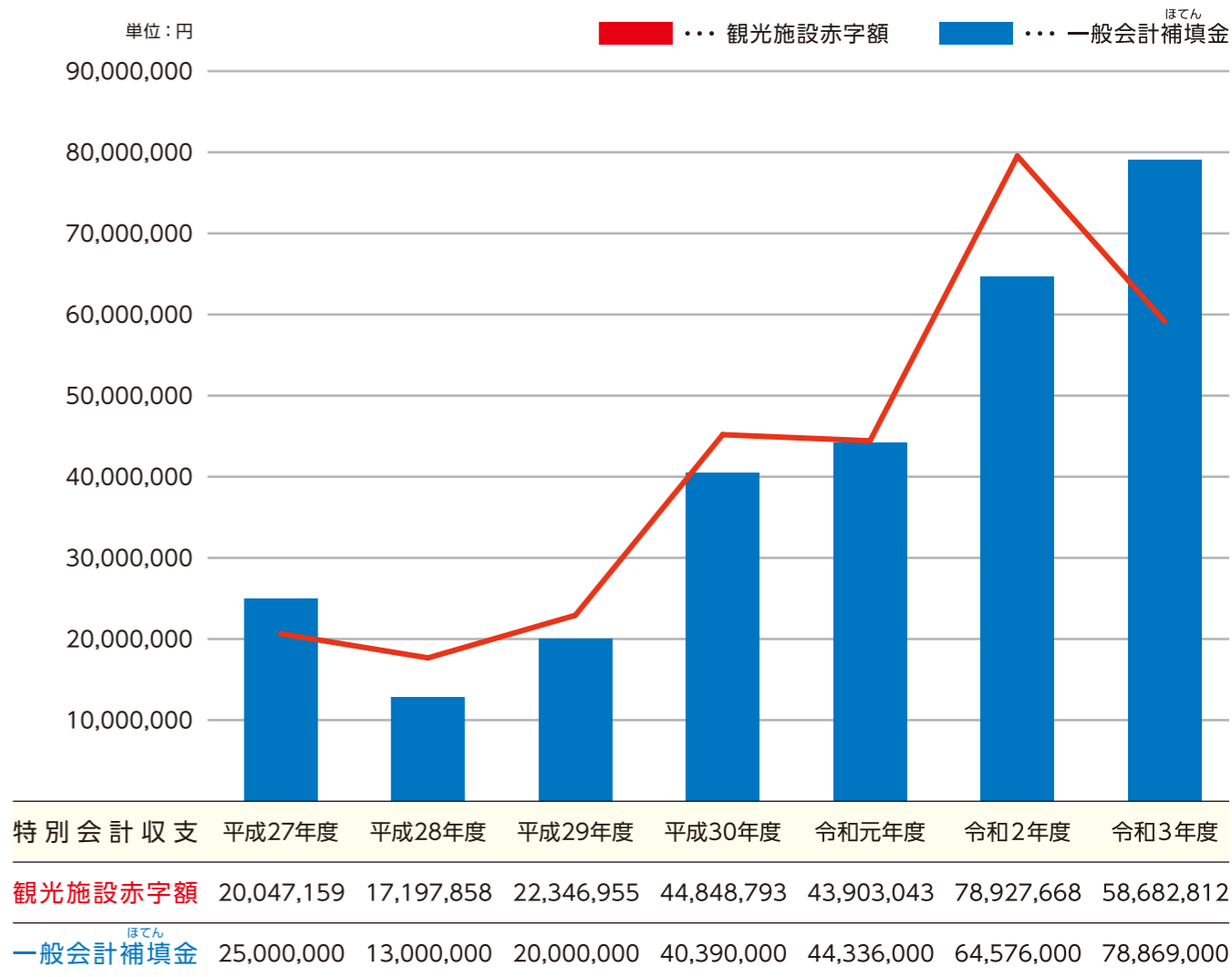
から、町では種イモ会社は設立せず、研究事業を終了することを令和4年2月の長島町議会革新種苗調査特別委員会で報告しました。

問い合わせ先  
 役場農政課農政係  
 ☎(86)1136[直通]



革新的種イモを使った増産の様子

## ▼観光施設特別会計の推移



## 宿泊施設の早期建設を目指す

平成29年4月、トス・三共JVホテル建設プロジェクト（大楽浩代表）と大型宿泊施設建設立地協定を締結し、早期開業を目指して着工しましたが、コロナ禍で建設資金調達の見途が立たず、令和3年12月、当該企業のホテル建設事業からの撤退が正式に決定し、令和4年1月下旬から企業側の責任で原状復旧工事が行われました。

今後は、本町を訪れる観光客や帰省客のかたがたに喜ばれるような宿泊施設の早期建設に向けて、新たな企業誘致に取り組んでいきます。

問い合わせ先  
 役場地方創生課地方創生係  
 ☎(86)1101[直通]



原状復旧工事の様子